東リ株式会社

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月14日

目次

2023年3月期 第2四半期決算概要

連結決算概要 P.3
製品分野別 連結売上高／営業利益率 推移 P.4
連結営業利益 増減要因 P.5
連結貸借対照表 P.6
東証プライム市場 上場維持基準の適合状況 P.7
株価・出来高の推移 P.8
上場維持基準の充足に向けた取り組み施策 P.9

中期経営計画の進捗

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」概要 P.11
「SHINKA Plus ONE」トピックス P.12

2023年3月期 通期業績見通し

2023年3月期 連結業績見通し P.17
連結売上高・営業利益の推移と見通し P.18
配当の状況（連結ベース） P.19

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

2023年3月期　第2四半期決算概要

連結決算概要

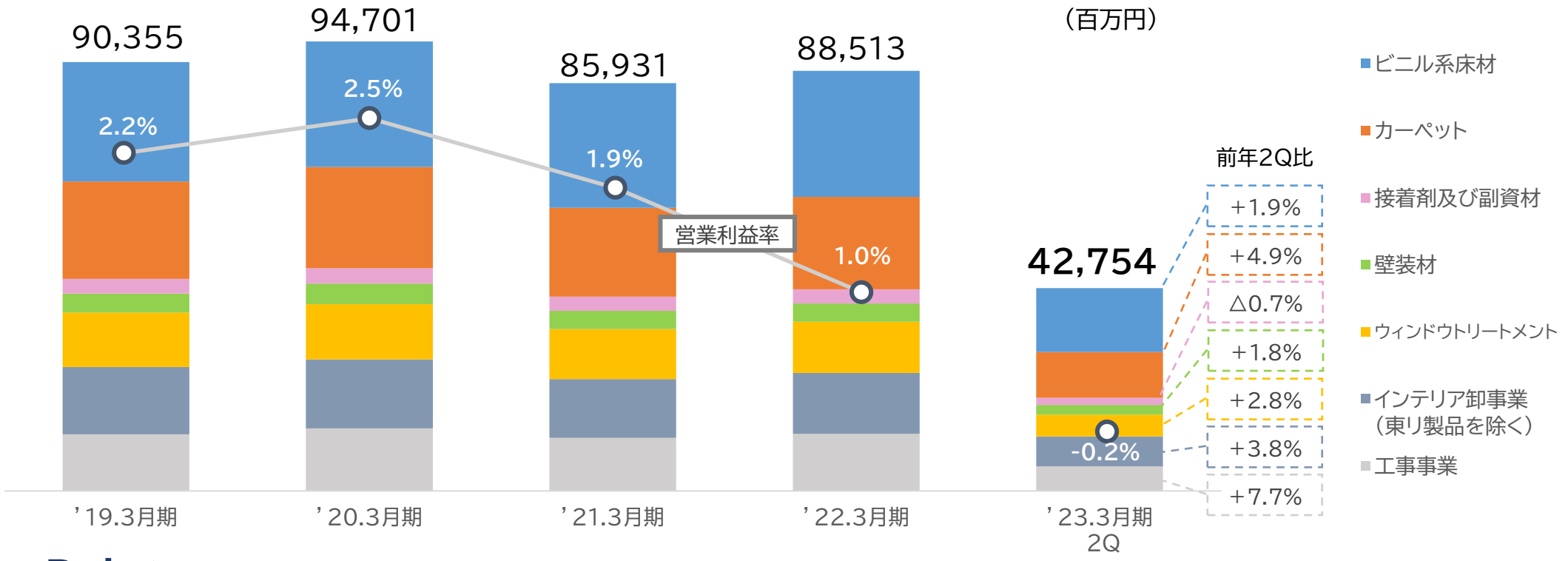
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期				
	実績	期初計画（5/9発表）	実績	前年比	前年差	期初計画差
売上高	40,225	42,000	42,754	+6.3%	+2,529	+754
売上総利益 （売上高比率）	11,029 （27.4%）	–	11,641 （27.2%）	+5.5%	+612	–
販売費及び一般管理費 （売上高比率）	11,292 （28.1%）	–	11,710 （27.4%）	+3.7%	+417	–
営業利益	▲263	▲800	▲68	–	+194	+732
経常利益	▲34	▲600	17	–	+51	+617
親会社株主に帰属する当期純利益	▲3	▲450	▲67	–	▲64	+383

Point

- 4～7月発売の新製品を中心に販促活動に注力し、販売数量は期初計画通りに推移。
- 塩ビ樹脂やナイロン原糸をはじめとした主要原材料の高騰が続いた。
- 昨年来の第2次販売価格改定を5月より実施。
- 販売価格改定の浸透が想定を上回って推移したことにより、売上・利益ともに期初計画を上回った。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

製品分野別　連結売上高／営業利益率　推移

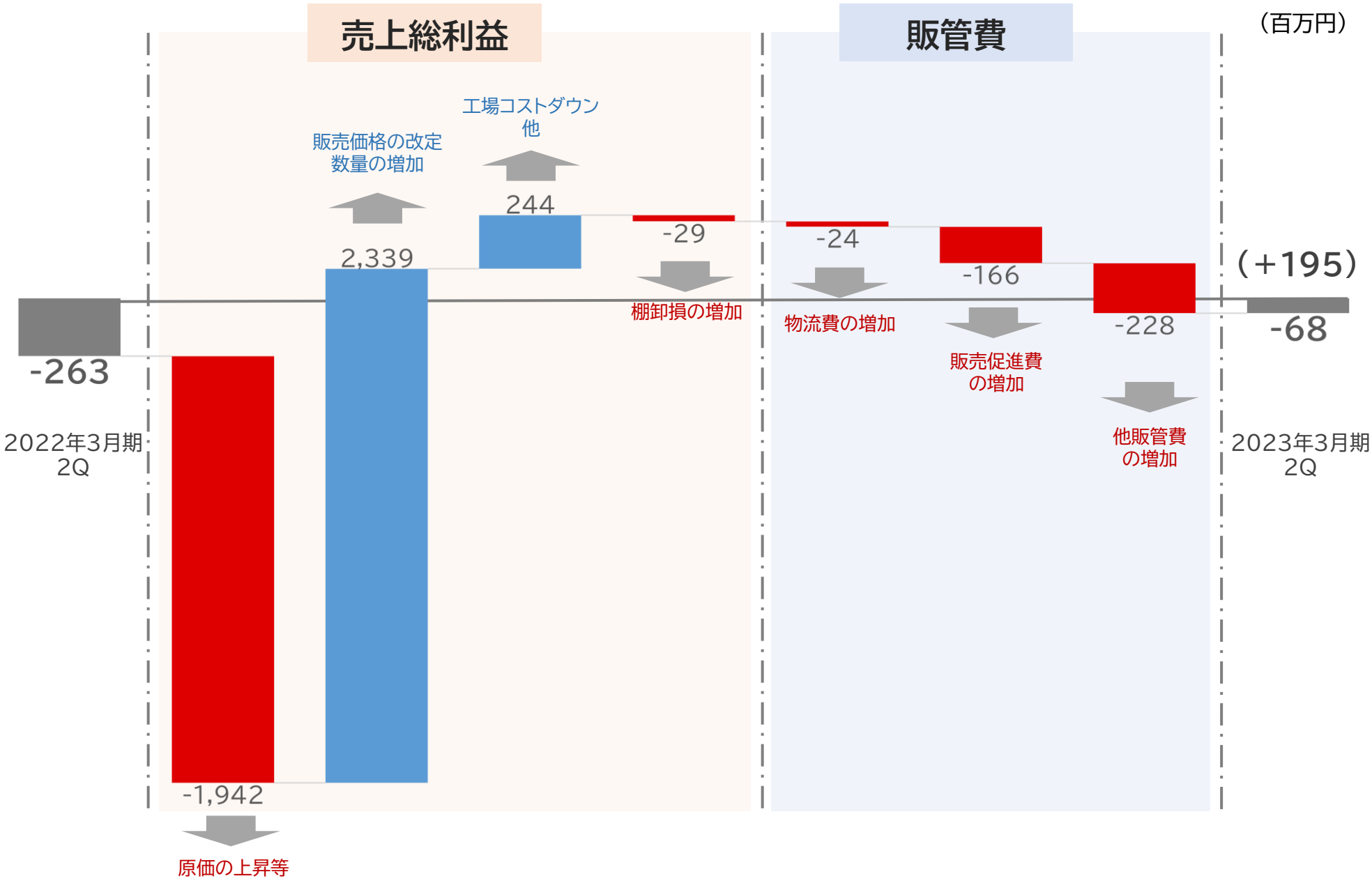


Point

- ビニル系床材　：　主力商品の「ロイヤルシリーズ」の刷新に加え、当社独自の技術を生かした単層ビニル床タイルシリーズのリブランディングに注力。また、新・第3の床材「タフテックタイル」を4月に発売し、2022年度グッドデザイン賞を受賞するなど、ビニル系床材は好調に推移。
- カーペット　：　6月に発売した「TOLI完全循環型リサイクルシステム」による環境配慮型タイルカーペット「GA-3600サスティブバック」を中心に販促活動に注力。
- 壁装材　：　7月発売の汎用タイプビニル壁紙「VS」、及び昨年改廃のデザイン性と機能性が特徴の「パワー1000」が好調に推移。
- ウィンドウトリートメント　：　健やかなくらしを支える医療・福祉施設等各種施設向け「コントラクトカーテン」が堅調に推移。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

連結営業利益　増減要因



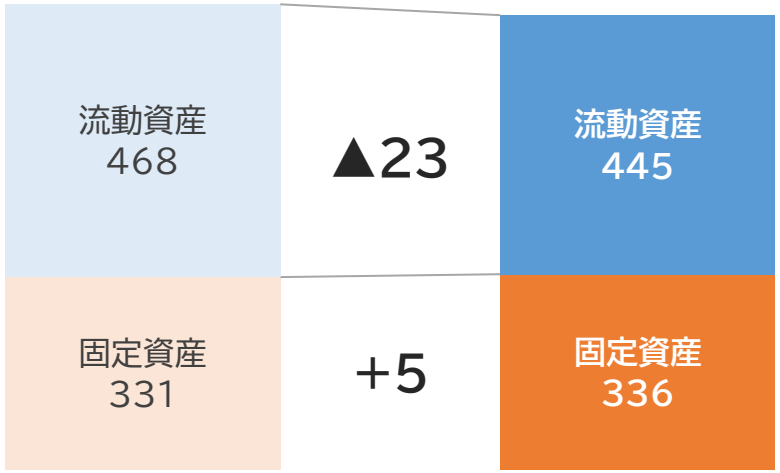
©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

連結貸借対照表

よろこびを敷きつめる

資産

（億円）



Point

＜流動資産＞

■ 売上債権の減少　▲38
－季節変動要因による売上高の減少による

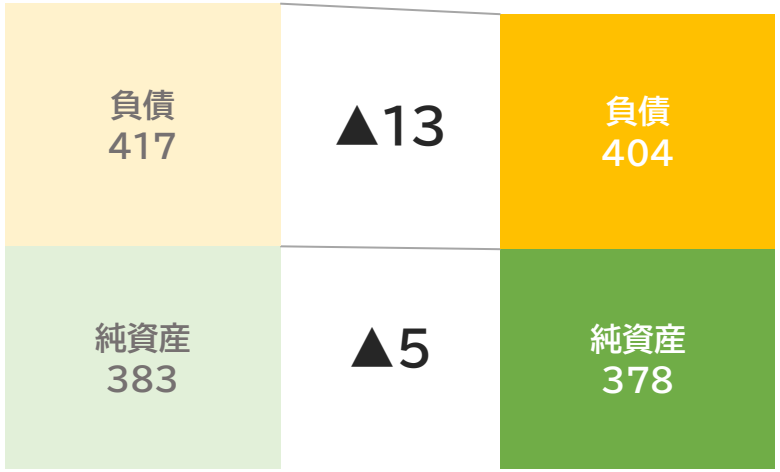
■ 棚卸資産の増加　＋21
－新製品発売に伴う在庫数量の増加による

＜固定資産＞

■ 有形固定資産の増加　＋5
－広化東リフロア㈱における新ライン建設
－滋賀東リ㈱における新リサイクルプラント投資　等による

負債／純資産

（億円）



Point

＜負債＞

■ 仕入債務の減少　▲10
－季節変動要因による仕入高の減少による

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

東証プライム市場 上場維持基準の適合状況

	上場維持基準	一次判定 2021年6月末時点(※1)		2022年 9月末時点
流通株式数	20,000単位 以上	326,022 単位	適合	341,147 単位
流通株式時価総額	100億円以上	81億円	不適合	69億円 (※2)
流通株式比率	35%以上	48.7%	適合	51.0%
1日平均売買代金	0.2億円以上	0.17億円	不適合	0.20億円 (※3)

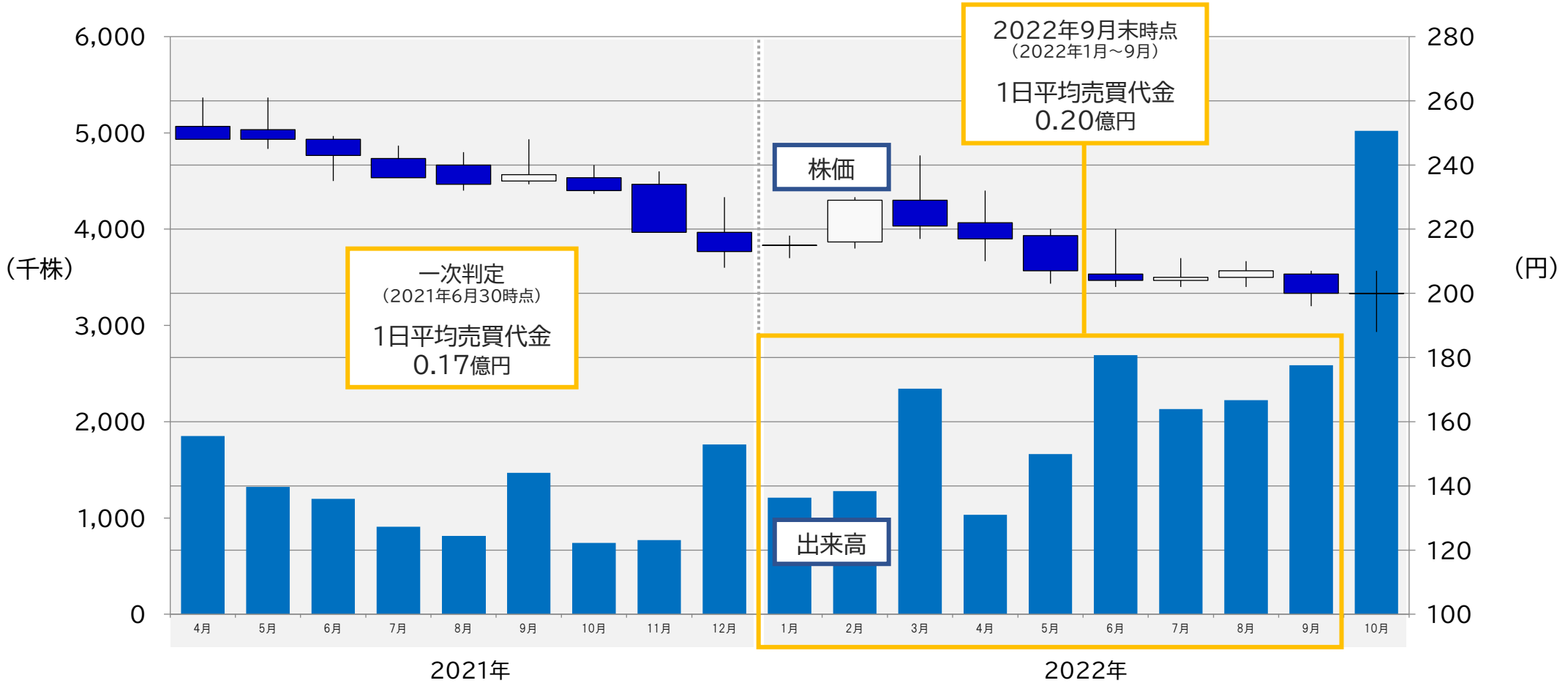
※1 「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」(株式会社東京証券取引所　2021年7月9日付)より

※2 流通株式時価総額は、流通株式数に2022年7月～9月の日次終値平均値(203円)を乗じた値により算出しております。

※3 1日平均売買代金は、2022年1～9月の日次売買代金平均となります。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

株価・出来高(月合計)の推移



Point

- 2021年以降、政策保有株式の見直し等により流通株式比率が上昇。
- 流動性の高まりによって、1日あたりの売買代金は上場維持基準に近づきつつある。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

1 収益力の拡大

- 第3次販売価格改定の浸透
- 中期経営計画の推進

2 情報開示の充実

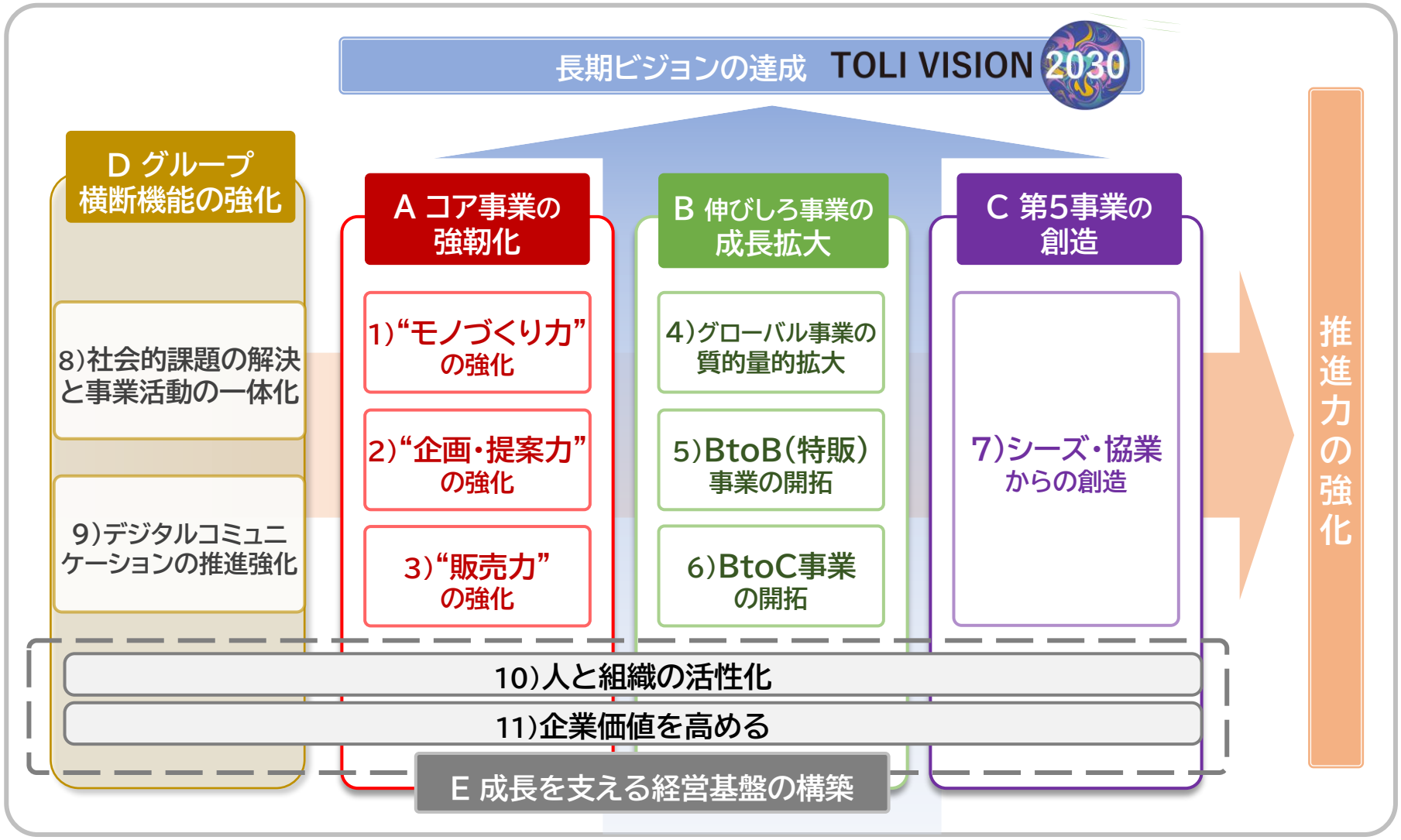
- 決算説明資料の充実
- IRサイトのリニューアル

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」概要

A「コア事業の強靭化」、B「伸びしろ事業の成長拡大」、C「第5事業の創造」を進め、D「グループ横断機能の強化」で横串機能を高めるとともに、E「成長を支える経営基盤の構築」でグループ事業全体の基盤整備を進めます。



A～E　：5つの重点戦略　　1)～11)：11の取組みテーマ

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

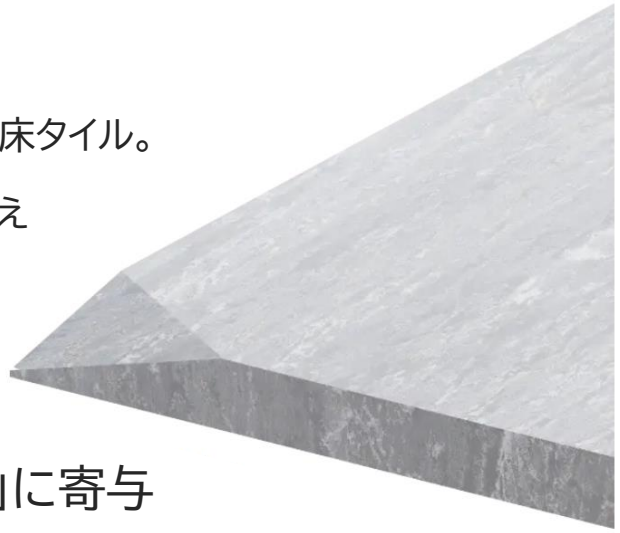
「SHINKA Plus ONE」トピックス①

実行戦略
環境負荷低減技術の確立と事業展開

A コア事業の強靭化　**D グループ横断機能の強化**

単層タイルを新ブランドとしてリニューアル

LCT(Luxury Calcium carbonate Tile)シリーズは、
自然由来の炭酸カルシウムを主成分とした単層構造のビニル床タイル。
7月に従来の製品カテゴリをリブランディングし、意匠性に加え
環境負荷低減に寄与する商品として再訴求を実施。




LCTシリーズのラインアップ

リサイクル原材料の使用比率が高く
「産業廃棄物削減」や「CO_2排出量削減」に寄与

農業用ビニルの再利用



工場内廃材の再利用



★今回のリブランディングは、組織活性化を目的に様々なテーマで取り組みを進めている社内横断PJ「NexTプロジェクト」にて企画されました

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

「SHINKA Plus ONE」トピックス②

よろこびを敷きつめる

実行戦略

中国合弁事業でのビニル床タイル製造・販売・新製品開発

A コア事業の強靭化

B 伸びしろ事業の成長拡大

新・第3の床材「タフテックタイル」を発売

LHT(Luxury Hard Tile)は、ビニル床タイルとセラミックタイルのメリットを兼ね備えた、まったく新しい床材。

4月に発売以降、商業施設やオフィスビルなど、幅広い建物への採用に向け販売促進に注力。

グッドデザイン賞を受賞(10/7)

審査員からのコメント

「セラミックタイルのような平滑面と強度を持ちながらビニルタイルの薄さであることで、デザイン性と施工性に優れた製品である。改修を重ねる現場で古い床の不陸調整に時間もコストもかけられない現状を考えると、このビニル床材製品の進化は喜ばしい。600角を中心とした大きめのサイズも現代的な上質な空間演出ができる。時代にあった開発に取り組んできた床材メーカーの更なる製品拡張も期待する。」

↓ 商業施設での施工イメージ



©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

「SHINKA Plus ONE」トピックス③

実行戦略 ： 環境負荷低減技術の確立

A コア事業の強靭化

D グループ横断機能の強化

タイルカーペットリサイクルの2号プラントの増設に着手



滋賀東リ㈱ リサイクルプラント（1号）

- 既に稼働している1号プラントでは最大約2,300トン／年 の産業廃棄物排出量を削減。
- 2号プラントの増設プロジェクトに着手し、2024年完成予定。
- 1号プラントの2倍強の能力を持ち、自社排出分は全量処理可能。
- 原材料への還元を進め、コストダウンを図る。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

実行戦略 ： 川上技術内製化への取り組み

A コア事業の強靭化

ナイロン紡糸設備の増強に着手



↑写真：ナイロン紡糸設備 1号機

- カーペット向けナイロン原糸は、世界的に調達が困難となっており、安定供給に対するリスクは高まっている。
- 1号機の本格稼働により、一部製品の原糸を外部調達から切り替え済。製品の安定供給や製造原価低減が進展。
- 2号機の増設に着手し、更に自社紡糸比率を高め、安定供給とコストダウン等を進める。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

2023年3月期　通期業績見通し

2023年3月期　連結業績見通し

単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期				
	実績	期初計画（5/9発表）	修正計画（10/24発表）	前年比	前年差	期初計画差
売上高	88,513	92,000	94,500	+6.8%	+5,987	+2,500
売上総利益（売上高比率）	24,124（27.3%）	–	–	–	–	–
販売費及び一般管理費（売上高比率）	23,246（26.3%）	–	–	–	–	–
営業利益	878	1,100	1,850	+10.7%	+972	+750
経常利益	1,244	1,450	2,000	+60.8%	+756	+550
親会社株主に帰属する当期純利益	720	950	1,200	+66.7%	+480	+250

Point

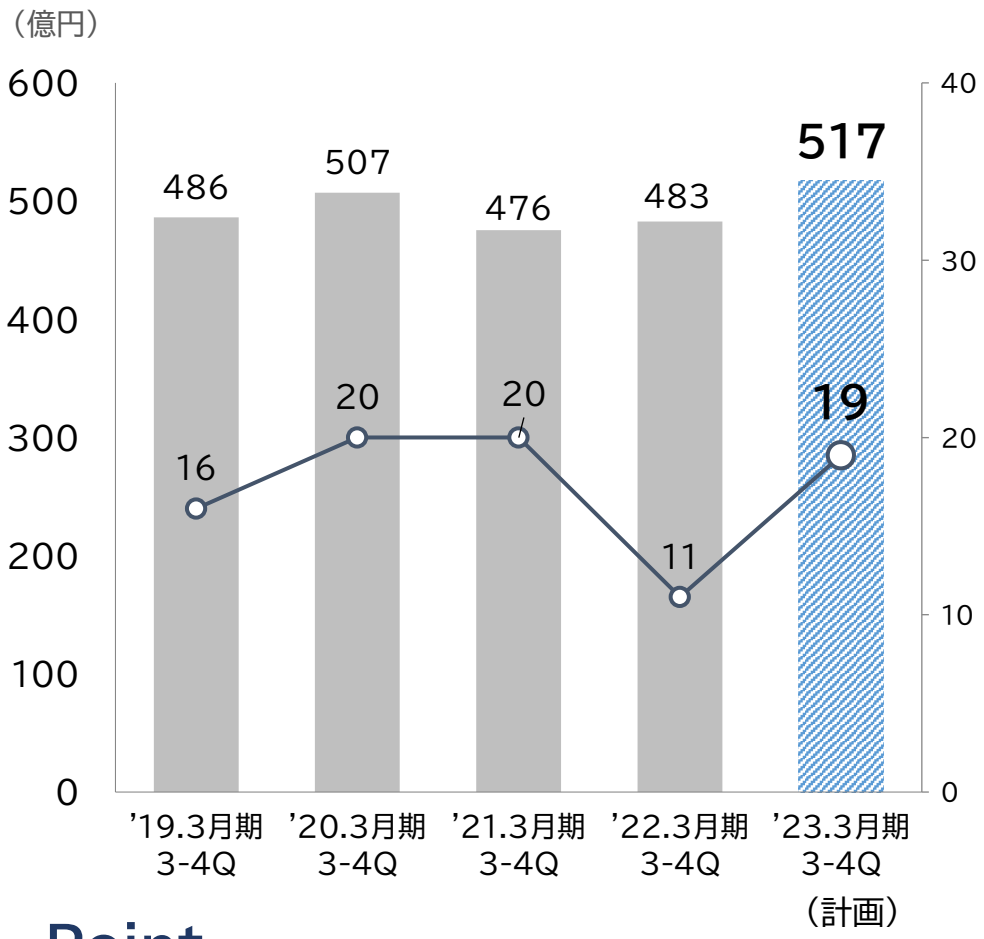
- 第2四半期累計期間の進捗及び原材料調達環境の変化により、通期業績見通しを修正。
- 売上高・利益ともに前年からの大幅回復を目指す。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

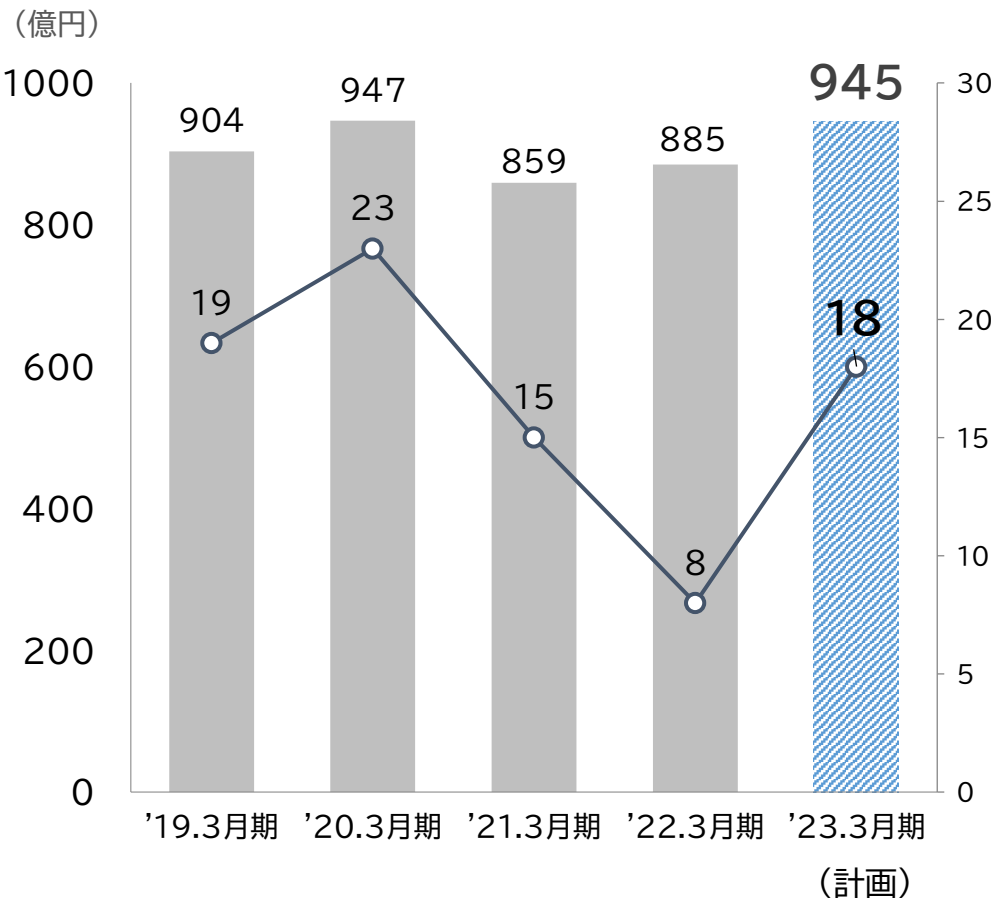
連結売上高・営業利益の推移と見通し

よろこびを敷きつめる

下半期



通　期

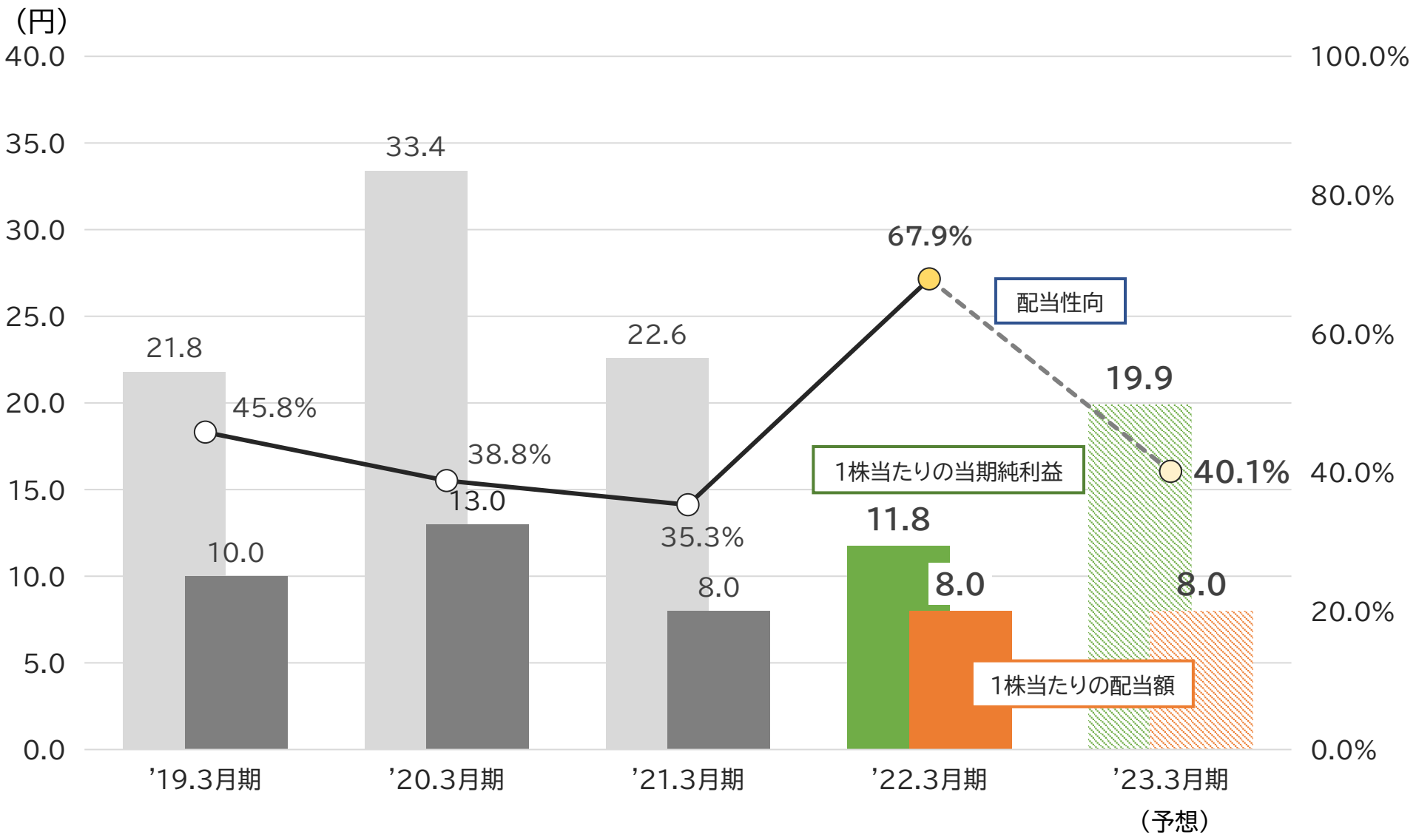


Point

- 下半期、通期計画ともに、売上高は過去10年で最高値であった2020年3月期と同水準までの回復を見込む。
- 第3次販売価格改定の浸透および上半期発売の製品PRに注力し、下半期並びに次年度の収益改善につなげていく。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

配当の状況（連結ベース）



©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました

よろこびを敷きつめる



IRに関する
お問い合わせ先

東リ株式会社
経営企画部

e-mail

ir@toli.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.